

2019年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。

各学科・研究科専攻の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 産業福祉マネジメント学科

産業福祉マネジメント学科では学生の学修成果の把握を目的に、ルーブリックに基づいて、「知識・技能」「プレゼンテーション力」「課題解決力」「キャリア観」の4項目を5段階評価で調査した。評価内容は下記に示した。なお、回答数は1年生入学時104、1年生終了時79、2年生12、3年生11、4年生6である。

各項目に対して5段階を1～5点（5点を最高評価）に換算した際の各学年の平均値をまとめて図示したものが以下になる。なお、棒グラフの上方に配置されている数字は平均値である。

知識・技能

- 5 専門知識をもとに現状と課題について討議できる
- 4 一定の知識をもとに現状と課題について討議できる
- 3 一定の知識をもとに自らの興味の範囲で説明することができる
- 2 興味を持って調べたりするが、うまく説明できない
- 1 企業の経済活動ならびに地域共創について説明することができない

プレゼンテーション力

- 5 プレゼンスキルを活用して有効なコミュニケーションが取れる
- 4 状況と要望に適合したプレゼンスキルを選択できる
- 3 主だったプレゼンスキルを身につけている
- 2 プレゼンスキルを身に付ける努力はしている
- 1 プレゼンスキルを身に付けていない

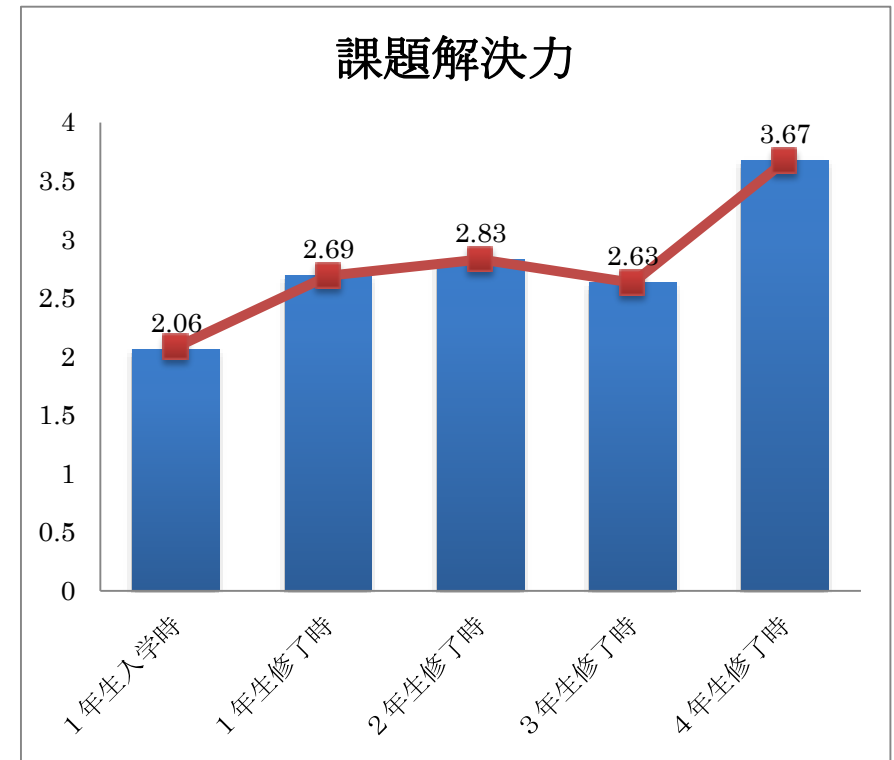
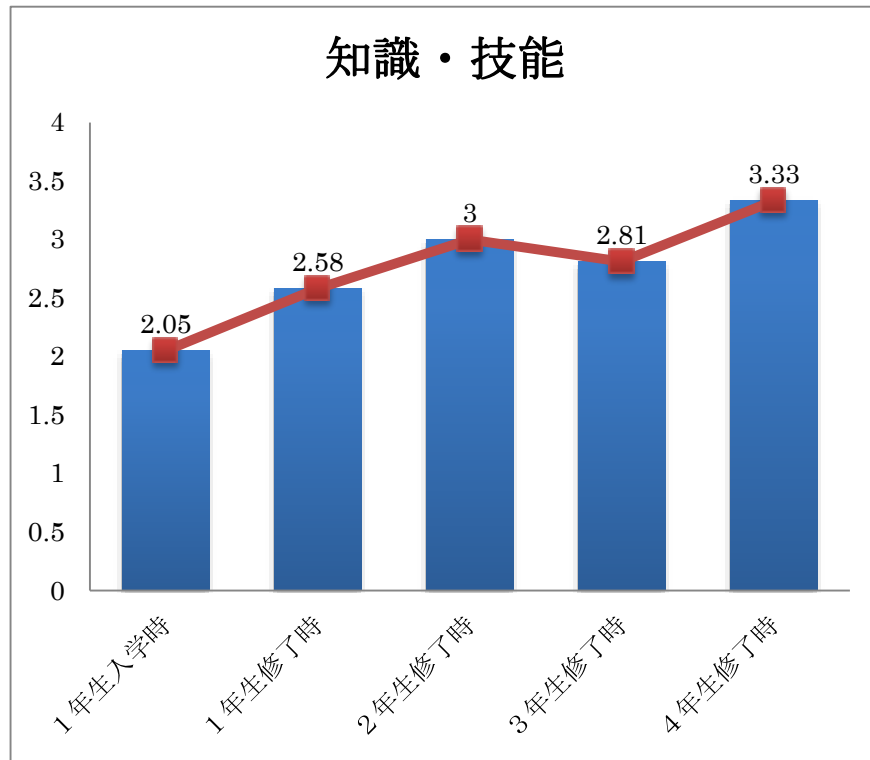
課題解決力

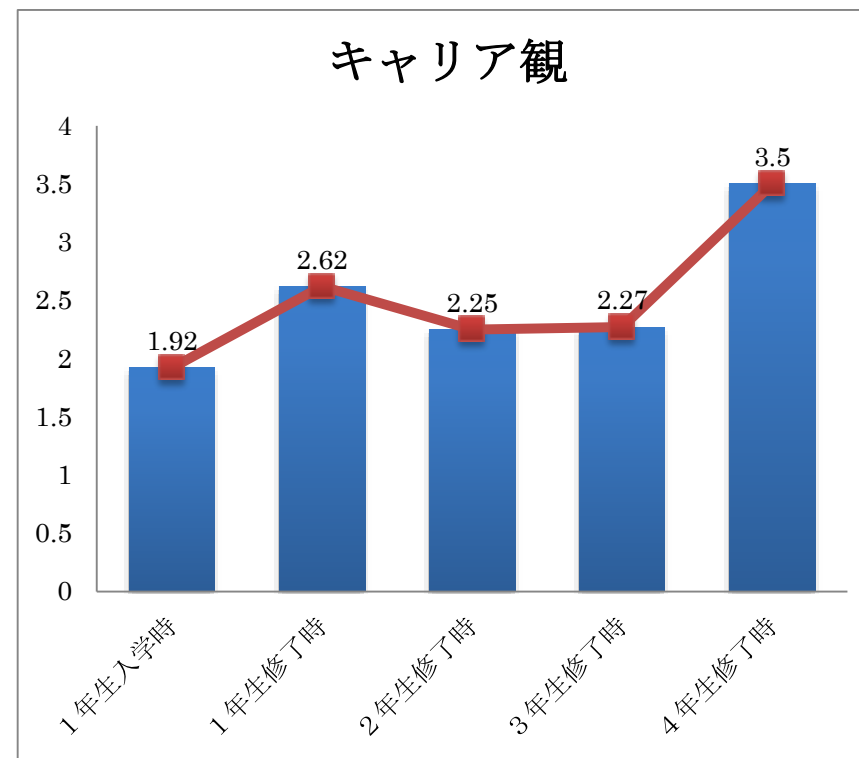
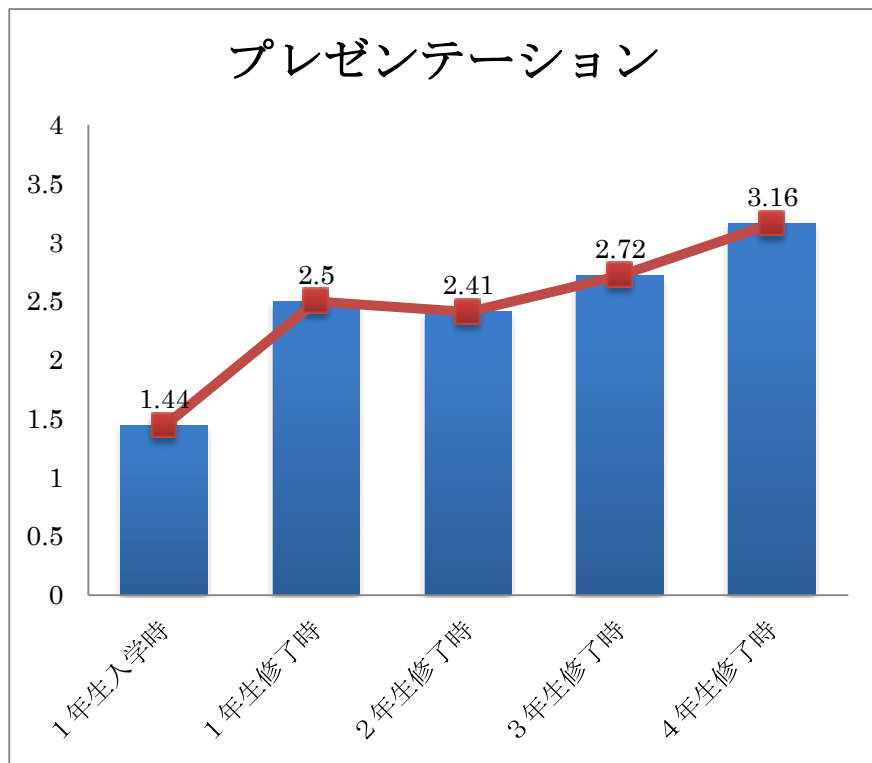
- 5 問題把握と解決策を具体的に考えることができる
- 4 専門知識をもとに現状と課題について理解し基本的な説明ができる

- 3 一定の知識に基づき問題を把握している
- 2 考える努力をしている
- 1 知識を習得すること、マネジメントサイクルで考える習慣がない

キャリア観

- 5 経済情勢ならびに業界・企業の動向を踏まえた説明ができる
- 4 特定の業界・企業の動向を踏まえたうえで説明ができる
- 3 キャリア展望について説明できる
- 2 キャリア展望の必要性に気付いているが説明できない
- 1 キャリア展望を考える必要性に気付いていない





各グラフからは4項目何れにおいても学年が上がるほど平均値が高くなり、卒業に至るまでに5項目の各要素で段階的な成果獲得の傾向がみてとれる。したがって、学科として学修は適切に進展していると判断できる。4項目のうち「知識・技能」「問題解決能力」「プレゼンテーション力」は順調に伸びている。総合的な取り組みの成果といえよう。また、全項目において1年生の入学時点との比較ではそれ以降の学年の段階で平均値の上がり幅が大きいことから、学科の取り組みが評価できる。

他方、キャリア観の項目が2年生、3年生で平均値が低いこと、更に全体的に3年生の平均値が低くなる傾向にあるので、2、3年生が学習を含めてより充実した大学生活を送れるよう学科全体で取り組むことが来年度の課題であると考えられる。